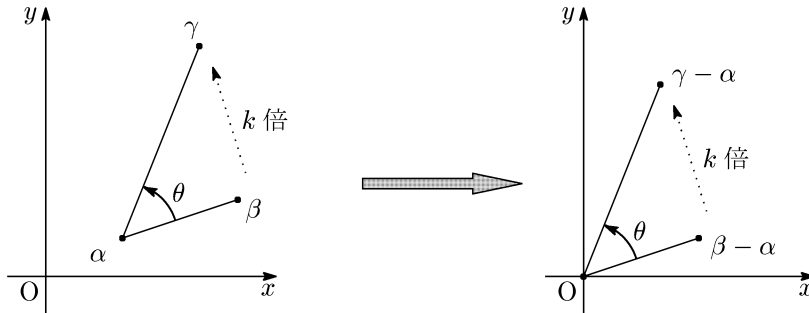


2直線のなす角

複素数平面上的点 $B(\beta)$ を, $A(\alpha)$ を中心に θ だけ回転させ, さらに A からの距離を k 倍にした点を $C(\gamma)$ とする。



このとき, 3点 α, β, γ の間には, 次の関係が成り立つ。

$$\gamma - \alpha = k(\cos \theta + i \sin \theta)(\beta - \alpha)$$

問題1 3点 $A(\alpha), B(\beta), C(\gamma)$ に対して, $\gamma - \alpha = (1+i)(\beta - \alpha)$ のとき, $\triangle ABC$ はどのような三角形か。
(吉教科書 p.103 問 21)

上述のことより, 3点 $A(\alpha), B(\beta), C(\gamma)$ について, 次のことがいえる。

$$\angle BAC = \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha}$$

問題2 $\alpha = -1+i, \beta = \sqrt{3}-1+2i, \gamma = -1+3i$ の表す点を, それぞれ A, B, C とするとき, $\angle BAC$ の大きさを求めよ。
(吉教科書 p.104 問 22)

とくに, 3点 $A(\alpha), B(\beta), C(\gamma)$ が一直線上にあるのは, $\theta = 0^\circ$, または 180° のときである。
また, 2直線 AB, AC が垂直になるのは, $\theta = 90^\circ$, または 270° のときである。

● 分点の公式 ●

$$3 \text{ 点 } A, B, C \text{ が一直線上} \iff \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} \text{ が実数}$$

$$2 \text{ 直線 } AB, AC \text{ が垂直} \iff \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} \text{ が純虚数}$$

問題3 $\alpha = 2 + 3i$, $\beta = 3 - i$, $\gamma = 4 + yi$ の表す点を, それぞれ A, B, C とするとき, 次の場合に, それぞれ実数 y の値を定めよ。 (吉教科書 p.104 問 23)

- (1) 3点 A, B, C が一直線上にある。 (2) 2直線 AB, AC が垂直である。

等式の表す図形

以下の2つが基本となる。 z が表す図形は

- ① $|z - \alpha| = |z - \beta|$ 2点 A(α), B(β) について, 線分 AB の垂直二等分線
 ② $|z - \alpha| = r$ α を中心とする, 半径 r (実数) の円

問題4 点 z が原点を中心とする半径 2 の円周上を動くとき, 次の式で表される点 w は, どのような図形を描くか。 (吉教科書 p.106 練習 8)

- (1) $w = iz + 1$ (2) $w = \frac{1}{z}$ (3) $w = 2i(z + 2)$ (4) $w = \frac{2z}{z - 2}$